

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2017年6月2号

大分市議会第2回定例会閉会

6月12日開会し、一般質問、委員会審議、各常任委員長報告、討論、採決がおこなわれ、6月26日に閉会しました。私が、6月16日（金）に、おこなった一般質問の要旨を紹介します。



(8項目について質問する福間・本会議場にて)

平和・民主主義破壊の安倍暴走政治を告発

福間—安倍首相の改憲発言は、9条3項に自衛隊を明記し、同条の前項を死文化させ、海外での武力行使を無制限に広げることになる。憲法改定でなく現憲法の平和・民主主義規定などを暮らしに生かすことこそ求められている。改憲発言への認識を問いました。

総務部長—「自民党総裁としての発言、憲法改正は国民の合意形成が不可欠であり、十分に広範な議論がされることを期待している」との答弁にとどまりました。



(本会議場・壇上にて)

教育長—「本市教育委員会としては今後とも日本国憲法の基本理念や教育基本法の定める教育の目的及び目標等に基づき、本旨教育を推進していく」と答弁しました。

福間—「教育勅語」を教材として用いることは「否定されることではない」とした「閣議決定」に対する見解をたずねました。

精神障がい者への交通費助成が実現します

福間—来年度より県内バス事業者も助成する方針を示しました。身体障がい者と同等の施策となるよう要求すること。福祉保健部長—「路線・割引率は身体障がい者と同等で検討され、年内に決定する。高速バス運賃や介助者割引についても、早期に県と連携し、大分県バス協会に要望していく」と答弁。10年来の粘り強い運動の成果です。

●佐野清掃センターの死亡事故後の安全対策は「安全帯の着用、搬入者への職員の積極的声掛け、大分労働局と合同で労働災害講習会を開催するなど、再発防止策の徹底を図っていく」—環境部長答弁

●交通指導員の不足解消と報酬引き上げについては、「候補者となる方に直接お願いするなど交通指導員確保に努める。報酬については、交通指導員の意見や職務の実態を勘案し、研究していく」—市民部長答弁

●鉄道駅のバリアフリー化については、「基本計画や実施設計に入っている大在駅・鶴崎駅・高城駅については、高齢者や障がい者団体などから幅広く意見集約をおこなう。

利用者3000人未満の駅についてもバリアフリー化の必要性を検討していく。・駅員の継続的配置・無人駅解消についてJR九州に要望をおこなった」—都市計画部長答弁

●国民健康保険の都道府県単位化では「納付金・標準保険税率」を早期に公表し、関係者の意見を聞くこと。病院ベット削減を迫る「地域医療構想」の市民への影響についても質問しました。

憲法9条守れ、「共謀罪」法廃止を



テロ等準備罪（「共謀罪」法）が15日の早朝参議院本会議で強行され、自民・公明・維新の賛成多数で可決成立しました。

追いつめられた安倍政権は参議院法務委員会の審議を一方的に打ち切り、国会ルール無視の禁じ手を使って、委員会採決を省略し、本会議採決に持ち込む「中間報告」という異常な強行採決を断行したことは許されません。国民の思想・良心の自由を侵す「共謀罪」法を廃止し、憲法9条守れの運動を広げていきましょう。

青信号の時間延長を一生協南大分店前



●生協南大分店前の手押し式信号は青信号時間が短く渡りきれないと高齢者・障害者から訴えがあり、時間延長を市を通じ、県へ要望しました。

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3—2—6
546—4505（FAX兼用）
携帯090—2714—5612

